



広報葉山で葉山町4度目の「全国広報コンクール」入選！

広報紙（町村部）・入選3席

この度、葉山町が毎月発行する『広報葉山』の12月号（令和2年12月1日発行）が、公益社団法人日本広報協会が主催する令和2年 全国広報コンクールの広報紙 町村部で入選3席に選ばれました。

広報紙の部門は、①都道府県・政令指定都市部、②市部、③町村部に分け、葉山町が入選した③町村部では、都道府県の推薦によって参加した町村のうち9点が入選しました。

コンクールの表彰式は、6月18日（金）に栃木市とちぎ岩下の新生姜ホールで行われます。

※ニュース発表は4月28日（水）朝6時以降の解禁です。



◆ 入選した広報葉山 12月号の概要

最近耳にすることが増えた「LGBTQ」や「性的マイノリティ」という言葉。性のあり方は人それぞれ。しかしその違いが理解されず、生きづらさを感じている人がいます。差別や偏見が生じる背景には、正しい知識を持っていない人が多くいることが原因の一つとして挙げられます。そこで、葉山町が令和2年7月よりパートナーシップ宣誓制度を開始したことに合わせ、一人ひとりが尊重されるべき「性のあり方」について特集しました。全ての人に關わる大切なアイデンティティの一つであること、日常の何気ない言葉などを振り返ることから、自分事として考えてもらうことを主眼に構成しました。さらに当事者の話を掲載することで、記事を読んだ当事者に勇気を与えるだけでなく、周囲の人が躊躇せずに具体的な行動に繋がられるようなメッセージを込めました。最終的には性のあり方だけに限らず、それぞれの違いを認め合う「誰もがありのまま生きられるまち」の実現を呼びかけました。

◆ 県広報コンクールでの講評

8ページにわたる「性のあり方を考える」特集は時代にもかなった内容であり意欲的な取り組みです。自分が住んでいる町が、多様性を尊重していることを示すことは、当事者にとっては大きな安心感を得られると思います。当事者に配慮しつつインタビューを掲載していることもリアリティを増しています。「いいね!の1枚」「葉山とワタシ」「写真館」など小さなコーナーに魅力があります。表紙の写真も葉山らしさが出ています。

問合せ 政策課 河野 ☎046-876-1111（内線333）